

平成 30 年秋期 基本情報技術者試験 合格発表 アイテックコメント

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2018,11,21

10 月 21 日（日）に行われた平成 30 年秋期の情報処理技術者試験について、基本情報技術者試験の合格発表がありました。試験に関する統計データをもとに、全体の得点分布と合格率関連の情報をお知らせします。

■基本情報技術者試験(FE)

[平成 30 年秋期の基本情報技術者試験 統計情報]

応募者	82,347 人
受験者	60,004 人
合格者	13,723 人
合格率	22.9%

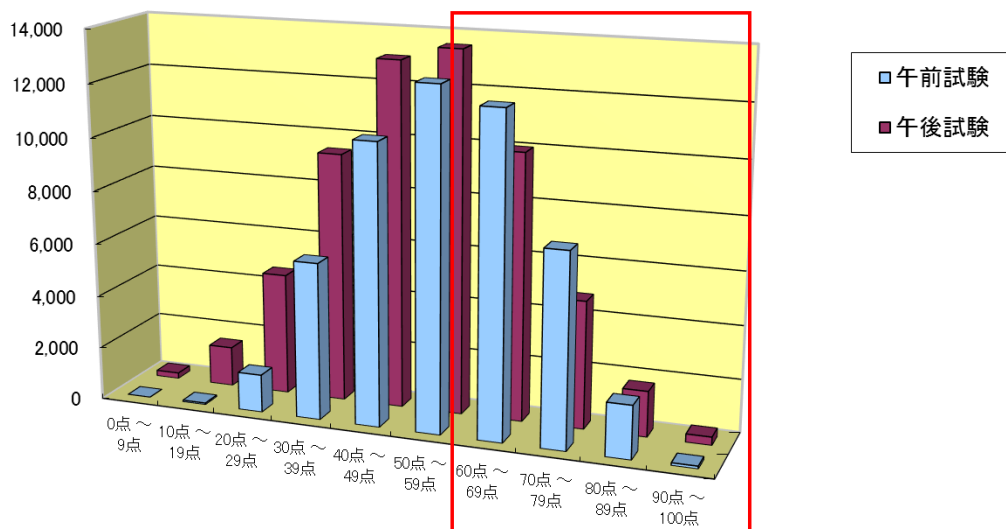
平成 30 年秋期の試験結果は合格率が 22.9%で、これまでの平均的な合格率でしたが、前回の平成 30 年春期 28.9%からかなり下がりました。その前の合格率は、平成 29 年秋期 21.8%，平成 29 年春期 22.5%，平成 28 年秋期 23.6%です。

試験センターから発表された基本情報技術者試験の得点分布をグラフと合わせて示すと、次のようになります。なお、統計情報の受験者数が、午前試験の受験者数よりも 8,019 人多いことから、教育機関で所定の学習を修了し（弊社アイテックも含まれます）、午前試験免除で受験した方が、おおよそこの人数いたと考えられます。

[平成 30 年秋期 統計情報(基本情報 得点分布)]

得点	午前試験	午後試験
0 点 ～ 9 点	5	217
10 点 ～ 19 点	60	1,510
20 点 ～ 29 点	1,432	4,610
30 点 ～ 39 点	5,913	9,416
40 点 ～ 49 点	10,519	13,014
50 点 ～ 59 点	12,681	13,533
60 点 ～ 69 点	12,012	10,009
70 点 ～ 79 点	7,261	4,806
80 点 ～ 89 点	2,002	1,723
90 点 ～ 100 点	100	311
計	51,985	59,149
午前と午後の差	(午前免除者予測)	8,019
合格者数	13,723	合格者数との差
午前 60 点以上合計	21,375	7,652
午後 60 点以上合計	16,849	3,126

平成30年秋 統計情報（基本情報技術者試験 得点分布）



今回の結果を少し詳しく分析すると、午前試験で合格基準点の60点以上の人は21,375人、受験者の41.1%（前回は55.6%）で前回よりも15%弱下がっています。問題難易度はほぼ同じと考えていましたが、計算問題が増えたことが理由か、予想よりも苦戦した人が多かったといえます。一方、午後試験が基準の60点以上だった人は16,849人（午後試験受験者の28.5%）いて、前回の32.8%から5%ほど下がっています。今回の午後試験は技術系問題がやや難しく、得点を下げた原因になったと思われます。

ここで、午前試験であと10点足りなかった人（得点50～59点）が12,681人（全体の24.4%）でした。また、午後試験であと10点足りなかった人は13,533人（全体の22.9%）ですが、前回と比べて全体に占める割合が増えており、苦戦した人が多かったといえます。

合格点まで10点足りない“あと一歩”の人は毎回結構高い比率でいることから、午前試験では仕上げの学習を確実にに行いしっかり知識を定着させる必要があります。また、午後試験では、まずは午前の試験で出題される知識を確実に理解すること、次に問題演習する際、15分～30分という標準解答時間中は、仮に分からないところがあっても考え続ける力を養うこと、そして、模擬試験を受験してアルゴリズムやプログラム言語問題を解くときに、解答時間の調整に慣れるなど、実戦的な力を身に付けることが重要です。

今回の試験の傾向や特徴を少し細かい内容でまとめると、次のようになります。

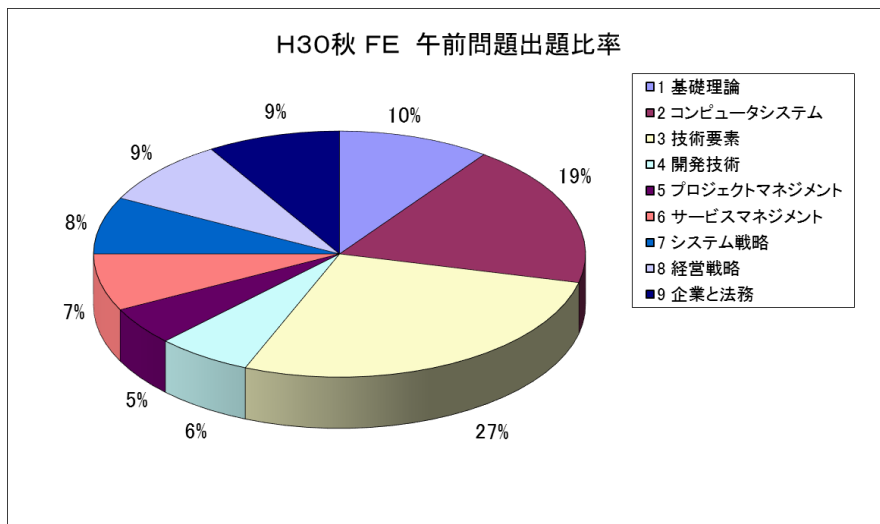
【午前問題】

- ・今回の分野出題数は前回同様、テクノロジーが50問、マネジメントが10問、ストラテジが20問でした。
- ・過去問題の出題は前回とほぼ同じで、全体の6割程度ありますが、基本情報の過去問は37問（前回39問）、応用情報の過去問は8問（前回7問）でほぼ同じ数といえます。
- ・前々回の試験では組込みシステム関連の問題が4問もありましたが、今回は出題されませんでした（前回は1問）。
- ・問題パターンは前回と比べて計算・用語問題が増え、考察問題が減りました（文章問題は横ばい）。

- ・問題の難易度については前回とほぼ同じ程度と考えられます。
- ・新傾向の問題は今回次の 12 問の出題があり、前回の 15 問から減っていますが、AI, IoT の内容が含まれています。他に仮想化, アジャイル関連の問題が出題されています。

- 問 3 AI における機械学習
- 問 7 プログラムのコーディング規約に規定する事項
- 問 23 二次電池 (充電式電池)
- 問 24 音声だけでやり取りをするインタフェースの種類
- 問 35 携帯電話機で使用される通信規格の名称
- 問 37 ブルートフォース攻撃に必要な試行回数の最大値
- 問 43 セキュアブートの説明
- 問 44 公衆無線 LAN のアクセスポイントのセキュリティ対策
- 問 46 UML2.0 のシーケンス図とコミュニケーション図
- 問 60 内部統制の整備及び運用に最終責任を負う者
- 問 71 IoT の構成要素
- 問 73 ネットビジネスでの OtoO

平成 30 年秋期の基本情報技術者試験



(テクノロジー分野: 1~4, マネジメント分野: 5~6, ストラテジ分野: 7~9)

出題数が 10 問と最も多いセキュリティ分野に関しては新しい話題も日頃から理解するように心がけ、午後試験で必須となったセキュリティ問題を解答するのに必ず必要な知識と考えて、最近の出題内容を確実に理解しておく必要があります。

〔午後問題〕

問 1 の情報セキュリティが必須、問 2~7 の知識の応用問題から 4 問選択、問 8 のアルゴリズムが必須、問 9~13 のプログラミングの問題から 1 問選択という形式です。

今回の午後試験では、必須問題の情報セキュリティとデータベース、ネットワークといった技術系の問題がこれまでより少し難しい内容が出題されました。他に必須のアルゴリズムの問題は普通レベルで、マネジメント系問題として出題されたプロジェクトマネジメントの問題がやや難しかったといえます。選択率が高いと思われる技術系問題が少し難しかったことから、全体として

は前回試験よりも解答しづらい問題だったといえます。

出題された午後試験問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。

問	テーマ	出題分野	難易度
1	情報セキュリティ事故と対策	情報セキュリティ	普通～やや難
2	プロセスのスケジューリング	ソフトウェア	普通
3	チケット販売サイトのデータベース設計及び運用	データベース	やや難
4	ネットワークの障害分析と対策	ネットワーク	やや難
5	購買管理システムで行う処理	ソフトウェア設計	やや易
6	プロジェクトのスケジュール作成	プロジェクトマネジメント	普通～やや難
7	広告制作業務の現状把握と改善	経営戦略・企業と法務	普通
8	整数式の解析と計算	データ構造及びアルゴリズム	普通
9	鉄道模型における列車の運行シミュレーション	C	普通
10	社内資格の保有状況の管理	COBOL	普通
11	ひな型への置換表の適用による文書の作成	Java	普通
12	日数の計算	アセンブラ	普通
13	待ち時間の状況などの分析	表計算	やや易

必須問題の問1 情報セキュリティの出題内容は、SQL インジェクション攻撃による情報漏えいの原因究明と対策をテーマとして、クロスサイトスクリプティングや WAF の導入が出題されていて、やや実務よりの内容で難しく感じた人も多かったと思います。

問2～問4は、今回はソフトウェア、データベース、ネットワークのテーマで出題されました。問2のソフトウェアはプロセススケジューリングの問題で過去にも類題が出題されています。また、弊社の公開模擬試験でもこのテーマで出題しており内容としては的中しました。問3のデータベースの問題では表の結合、ユーザ定義関数が初めて出題され、問4のネットワーク問題も障害管理の内容でこれまで出題されていない内容でした。問6のマネジメント分野の問題は前回と同じプロジェクトマネジメントの問題で、頻出の日程管理（アローダイアグラム）の内容でしたが、問題の条件が複雑で少し難しい内容だったとえます。

問8のアルゴリズム問題は、整数式の解析と計算を題材とした内容でプログラムに空欄はなく、設問はすべて処理の内容や処理結果に関するものでした。データを使って一つずつ落ち着いて考える必要があります。

問9～問13のプログラム言語の問題では、表計算の問題が少し易しく、他の言語はほぼ従来と同じ難易度といえる内容でした。